



2012-13

週報



パワー浜松ロータリークラブ事務局
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2
オークラアクティホテル浜松4307号室
Tel/Fax 053-452-0800

Email info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日
認証伝達式/2003年4月29日
スポンサークラブ/浜松中RC



RIテーマ「奉仕を通じて平和を」会長/田中作次(八潮RC)
2620地区のテーマ「クラブは自ら活性し、お互いのつながりを実感しながらロータリーを伸展させよう」
ガバナー/高野孫左エ門(甲府RC)

パワー浜松RCのテーマ「固く結ぼう心の絆、分かち合おう総ての仲間と」会長/小澤邦比呂

第470 回例会 1月15日(火)AM7:30~8:30

オークラアクティホテル浜松4F平安の間 ■司会:寺田洋平・木村満義

■点鐘:小澤邦比呂 ■ロータリーソング:我等の生業

■ゲスト:浜松中RC 山口貴司様 ■ビジター:浜松中RC 木村嘉代子様

出席

90名中57名63.33%
前々回修正出席率72.22%

会長挨拶



ロータリアンの皆さま、おはようございます。本日は浜松中ロータリークラブから『超私の奉仕賞』を受賞されました山口貴司様をお迎えして卓話を頂戴いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

さて1月は『ロータリー理解推進月間』という事になっています。年明け心を新たにしたい1月にそのような目標が掲げられている意味が分かる気がいたします。少し文章をご案内いたします。『国際ロータリーが2010年に実施した調査でもわかるように、ロータリーという名前を知らない人が多く、名前を知っている人でも、どのような組織なのか、どのような活動をしているのかについて知っている人は限られています。RI戦略計画の優先項目の一つに「公共イメージと認知度の向上」があります。

ところで、一般の人々はロータリーのどんなところから、イメージを持つようになるのでしょうか。自分の身近な所にロータリアンがいるとしたら、まずはその知人の人柄や日頃の行動、その職業上の行いから判断して、「ロータリーはこういう人たちの集まりなんだ」と、ロータリー全体のイメージに結びつけることでしょうか。ですから、ロータリアン一人ひとり、日ごろの行動や、仕事との向き合い方にも、いつも気を配っていただければいいですね。(中略)

ブランドと呼ばれるバッグや洋服、自動車などは製品のデザインがいいとか、性能がいいとか、機能的といったように、何か優れた点があると思います。しかし、製品の良さにだけ頼るのではなく、それらの良質な製品に関するイメージ戦略を展開して、その良さを知ってもらいます。良質な製品やサービスと、それらを知ってもらう活動の積み重ねによって、ブランドと呼ばれる製品や企業が生まれるのです。(中略)

しかし、企業と違って、ロータリーは、個々のクラブでそれぞれに活動しています。クラブごとに別々に実施している活動を、

という一つのキーワードでくっつけて連想してもらうのは、容易なことではありません。

そこで、強力な役割を果たすのが「ロータリーの徽章」です。ロータリアンがいつも襟に徽章を着け、クラブの活動の折には、徽章の入ったタスキや帽子、ジャンパーを身につけたり、クラブのホームページに徽章を入れたりすると、その絵柄とともに、ロータリーというキーワードが人々の心の中に入り込んでいくことになるでしょう。』

ということでもあります。今ご紹介したのは昨年のロータリーの友1月号の一部です。ロータリーバッジに恥じない行い・行動をするということは、人として、人間としてのブランドの形成することにつながります。そして企業ブランドの構築にもつながります。襟につけているロータリーバッジは何のために着けているのか、そしてどういう意味があるのか自身に問いかけてみる必要があります。『襟を正す』という言葉があります。やはり襟元・襟に注力し、愛する人を思うがごとく、もっともっと愛おしく大切にしたいと思います。それでこそ本当の『いとこのエリー(襟~)』ということだと思います。(笑)

幹事報告

- ①2013-14年度のガバナーノミニー候補者推薦のお知らせがきました。ご意見をお持ちの方は幹事までお知らせください。
- ②ロータリーの友とガバナー月信の1月号を配布いたしました。
- ③本日第7回理事会の議案書提出日となっておりますのでお知らせします。
- ④次週例会は第4回目のAKRミーティングです。会場が3階に変更されていますのでご注意ください。

スマイル報告

滝浪 實

山口先生、受賞おめでとうございます。ご自身のお身体も大切にしてください。

稲野清治(ゴルフ同好会)

昨年の事となってしまいましたが、去る12月22日に第31回青空例会を開催しました。参加メンバーの半分が初参加という事で成績を除けば、盛り上がった大会となりました。当日、忘年会も開いてスマイルを頂きましたので代表でスマイルします。次回の青空例会は、3月3日の雛祭りの日を予定していますのでたくさんの参加をお願いします。

委員会報告

諸星圭吾(理事)

本日例会終了後理事会がありますので、関係者はご出席ください。





2012-13

第470回例会
1月15日(火)
議事事項



パワー浜松ロータリークラブ事務局
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2
オークラアクティビティホテル浜松4307号室
Tel/Fax 053-452-0800
Email info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日
認証伝達式/2003年4月29日
スポンサークラブ/浜松中RC



☆卓話☆ 浜松中ロータリークラブ 山口貴司さん



「超我の奉仕賞受賞の裏話」

超我の奉仕賞はロータリー最高の栄誉のようですが、本日は最初に、私がネパールで活動してきた裏話をさせていただきます。

貧困の中にあるネパールの医療、教育、産業、女性の自立支援の突破口になる活動を私たちは行っています。活動の基本は思いを込めた活動を行う事です。

私は医療からと思い、病院をネパールに作りましたが、失敗してしまいました。その後、やはり小さなことからしたほうがいいと考え、2年間ネパールに住み、活動してきました。

教育面では移動図書館を作りました。たくさんの方の支援で実現できましたがかなり大変でした。

産業では、うちの作成を行いました。今のところあまり売れていませんが今後も進めていきたいと考えています。

コーヒー豆の木を1500本植えました。3年続いておりuccの会長さんからも協力のお話をいただき、今後に期待しています。

次に、浜松市には2万人近くの外国人の方が住んでいます。その外国人の方の無料検診を1990年から進めています。これは本当にたくさんの方からのサポートで行われています。また、外国人学校の検診も12年間行っています。パワーRCの滝浪さんにも協力してもらっています。国際クリニックでは土日も開けて通訳の方も置き、外国人の方の検診を続けています。

超我の奉仕賞受賞のきっかけは浜松中ロータリークラブの25周年の実行委員長として子供たちに夢を与えようと「私たちこそ未来」といミュージカルを講演して好評だったことです。

今後もロータリーの活動は行っていきたいと考えています。

山口さんのプロフィール

氏名	山口貴司(やまぐち たかじ)	生年月日	昭和16年4月3日
会社	山口ハートクリニック	役職	医院長
経歴			

長野県松本市生まれ。東京大学医学部卒業。1977年浜松医科大学第一外科講師として赴任し、新大学の立ち上げに関わり、循環器系の教育、診療、研修に従事。1989年浜松市新橋に山口ハートクリニックを開設。2010年11月、中区佐鳴台に山口ハートクリニックを開設。また、2001年ネパール支援組織を設立、医療、教育、産業、女性の自立支援活動を展開。静岡県第一号の認定NPO法人となる。

山口ハートクリニックのPR

外国人、日本人を問わず良心的な医療を行っております。外国人の方のための通訳(ポルトガル語、スペイン語、中国語、タガログ語、英語)がおりますので、外国人の方も安心して受信していただけます。健康保険のない受信者の方にも対応しております。検査結果はその日にお知らせできます。(糖尿病、貧血、腎臓病、心臓病、感染症)

山口さん、大変ありがとうございました。

色々な話を飾らずにしておられました。ものすごい活動を頭でなく、先ずは行動と言う形で実践されていると感じました。

まさに、超我の奉仕と言うロータリーのテーマにふさわしいお話でした。

会場でも皆さんがおっしゃっていましたが、これからもご壮健でお過ごしください。